

LINE、「LINEタイムライン」で複数アカウントを使い分けできる『マルチアカウント』機能を近日中に提供開始予定

2020.09.10 LINE

新しいアカウントを追加して、情報発信の幅や活躍の場を広げよう
収益化やセルフプロモートも可能に

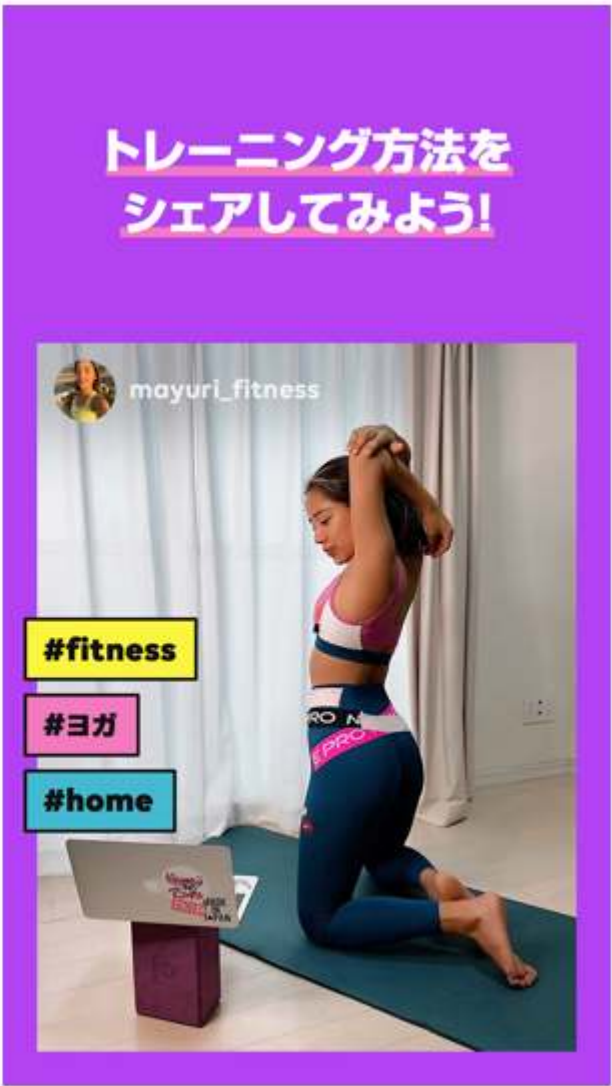
詳細： <https://timeline-creator.line.me/ja/>



LINE 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛、以下LINE）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」 <https://line.me/ja/> 内「LINEタイムライン」において、『マルチアカウント』機能を近日中に提供開始いたしますので、お知らせいたします。
※スマートフォン版「LINE」バージョン10.15.0以上で利用できます。

「LINEタイムライン」は今年3月に自分の好みのコンテンツや流行の動画を発見・発信できる機能「ディスカバー」と、友だち追加しなくても「フォロー」したアカウントの最新投稿が自分のタイムライン上に表示されるようになる「フォロー」機能の提供を開始しました。これらの機能拡充により、「LINEタイムライン」はこれまでのように日常をシェアしたり、友だちの近況をチェックする場所から、興味深いコンテンツに接したり、コンテンツを元にコミュニケーションできるプラットフォームへと変化を続けています。『マルチアカウント』機能を提供することにより、「LINEタイムライン」でクリエイターが格段に活躍しやすくなり、「LINEタイムライン」は一層、最新・最旬のコンテンツが満ち溢れる場になっていきます。

『マルチアカウント』機能※は、「LINEタイムライン」上で新たにアカウントを作成し、「LINEタイムライン」に動画や記事コンテンツを無料で投稿できる機能です。個人アカウントとは別にオフィシャルアカウントとして運用したり、旅行やグルメなど発信するコンテンツのジャンルごとにアカウントを使い分けられるため、発信の幅が広がります。
※『マルチアカウント』機能で作成したアカウントからトークヘッメッセージを配信する場合はLINE公式アカウントのフリープランが適用されます。



また、『マルチアカウント』機能を活用することにより、「収益化」と「セルフプロモート」の2つを実現できる仕組みも提供します。

■『マルチアカウント』機能で「収益化」する方法

クリエイターは、『マルチアカウント』機能で作成したアカウントから、動画コンテンツに広告を掲載して「LINEタイムライン」に投稿することで、視聴に応じた広告収入を得ることができます。収益化を行うには、アカウントのフォロワーが500人以上いて、直近1ヶ月間で投稿した動画の再生時間が50時間を超える必要がありますが、これらの2つの要件を満たしていれば「LINE」ユーザーのどなたでも収益化を始めることができます。広告の種類は、動画再生時に再生途中から挿入されるインストリーム広告と、動画再生時に再生途中から画面の下部に表示されるイメージ広告の2種類です。また、『マルチアカウント』機能は豊富な分析機能も備えており、友だち数の推移や視聴数の分析も随時チェックできます。

■『マルチアカウント』機能で作成したアカウントに「セルフプロモート」して集客や流入数を増やす

『マルチアカウント』は、投稿をより多くのユーザーへお届けして、アカウントへの集客や流入数を増やす「セルフプロモート」機能も備えています。「セルフプロモート」機能を利用することで、ターゲットとするユーザーのフィードにポストをリーチできます。ポストする対象は、クリエイター自身がアカウント上で直接、性別、年齢、地域、興味に基づいて設定でき、アカウントの友だちが100人以上を超える場合は自動ターゲットを選定することも可能です。

URL： <https://www.linebiz.com/jp/manual/OfficialAccountManager/timeline/selfpromote/>

